



<学生版>HOSEI 2020

オンライン授業ニュース

2020/5/7 臨時号

学生の皆さんへ 本ニュースの紹介

本ニュースは、本学期のオンライン授業期間中、以下の目的をもって、本学で働く専任・兼任教員の方々を対象に、不定期刊行している媒体です。

今回、学生の皆さんに伝えたい内容が何点もあり、臨時で学生版を発行します。

<ニュースの発行目的>

- ・大学の方針や考えを迅速にお伝えすること
- ・問いを共有し応えること
- ・支援の機会や環境について伝え共有すること
- ・参考になる実践を交流共有しあう場になること

【本ニュース発行主体】
HOSEI2020 オンライン授業
支援特設チーム

(教学統括副学長のもとに
2020 年度オンライン授業
を支援する目的で設置)

【事務局】

総長室付教学企画室

本号のラインナップ

- 1 オンライン授業受講環境整備のための学生支援について
- 2 Zoom、Webex のアクティベーションに関して
- 3 オンライン授業で用いる機器・通信環境調査の回答結果

オンライン授業受講環境整備のための支援申請 が始まっています (5月7日～11日 月曜日 17時まで)

すでに法政ポータルサイト(Hoppii)で案内がなされていますが、7日から「オンライン授業受講環境整備のための支援申請」が始まっています。支援を必要とする学生の皆さんは、掲示された情報を速やかに確認ください。また身近な友人同士で知らせ合い、必要な人が情報を確認できるよう助け合ってください。詳しくは Hoppii トップページ「大学からのお知らせ」より「オンライン授業受講環境整備のための支援について」をご覧ください。

<https://www.hosei.ac.jp/application/files/7415/8880/8028/0506.pdf>

以下は、5月1日にお知らせした大学 HP 掲載内容の関連力所です。

<https://www.hosei.ac.jp/info/article-20200424093442/>

(1) 通信環境の整わない学部生・大学院生への支援

オンライン授業の受講には月間 30～50GB 程度の通信容量が望まれますが、学内での調査により、それになかった通信環境を整えられない状況にある学部生・大学院生が一定数いることが分かりました。そのような方を対象として、オンライン授業の期間中、月間 30～50GB 程度の通信容量を各自確保できるよう、以下いずれかの支援を行うこととしました。

- ・Wi-Fi ルーター (50GB/月モデル) の無償貸与
- ・通信容量増設費用補助 (春学期分 15,000 円支給)

(2) PC の無償貸与

同じく学内実施調査により、オンライン授業に用いるための端末を整えられない状況にある学部生・大学院生が一定数いることが分かりました。そのような方を対象として、PC の無償貸与を実施します。なお、対象者数は先の学内調査での結果を受けて算出しており、貸与台数には限りがあります。各自の事情を確認させていただいたうえで採否を決定させていただきますので、ご承知おきください。

【申請前にご注意！】

前ページの申請を考える際には、

自分が契約する携帯電話会社の支援措置を、かならず事前に（再）確認ください。

自分の契約する携帯電話会社には「25歳以下対象の通信容量支援の措置は無い」と思っている人は、いまいちど確認ください。格安SIM含めてほとんどの携帯電話会社で何らかの支援を行っています。確認の上、ぜひ支援措置を積極的に活用ください。

ただし会社によってはHP上で情報を確認しづらい場合もあります。どこをみれば良いかわからない場合は、以下のページの<学生支援>で紹介している、「データ通信量の支援状況（大向一輝（東京大学大学院人文社会系研究科准教授）作成ページ）」では、大手キャリアだけでなく格安SIM含めた携帯電話会社約20社の支援情報ページへのリンク案内が日々更新されており、とても参考になります。

<https://www.hosei.ac.jp/info/article-20200504140138/>

Webex / Zoom の大学としての導入とアクティベーションについて

リアルタイム型のオンライン授業に使用できるツールとして、本学では大学としてWebexとZoomの導入を決め、5月7日より大学アカウントで（暫定）利用できるようになりました。

5月6日には、専任・兼任教員全員にアクティベーション（利用可能な状態にするための初期化）の案内が送付され、7日から全学生（学部生・大学院生）にも、大学が付与したメールアドレス宛にアクティベーションの案内が送付される予定です。

具体的情報は、以下の全学ネットワークシステムユーザ支援WEBサイト（Webex及びZoomの利用開始について）にあります。<https://netsys.hosei.ac.jp/kyoshoku/info/info20200429t01.html>

注意いただきたいのは、以下の点です。

1) Zoomについては、2020年5月末まではトライアルライセンスを利用するため、学部生・大学院生は基本プランである無料版（Basic）での利用となります。この期間、学生が会議主催者となって3人以上のミーティングを開催する場合、最長40分の時間制限がかかります。（正式ライセンスに移行する6月以降は時間無制限になります。またWebexは当初から時間無制限で利用できます。）

2) 大学から付与されたメールアドレスで、Zoomの有償アカウント（Zoom Pro）を持っている場合、マニュアルの手順を実施しないで、オンライン会議ツールサポート窓口に連絡するように指示されています。（「Zoomアクティベーション手順書」p.6）

3) 大学として契約することで、会議（授業）参加者を学内者に限定し、会議（授業）の安全性を高めることができます。ただしこの際には、参加者全員が大学から付与されたメールアドレス（アカウント）で、アクティベーションを完了している必要がありますので、その点、ご注意ください。

本学学生がオンライン授業に用いる

機器・通信環境アンケート回答結果（速報）

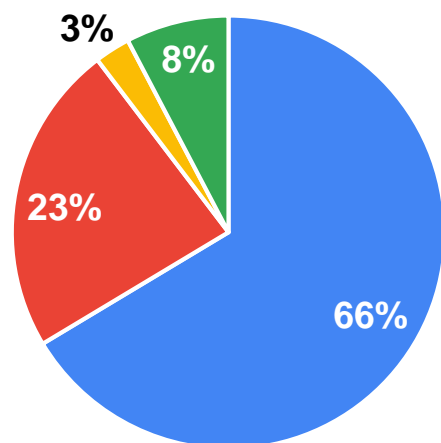
4月27日～30日に本学学部生・大学院生を対象として、オンライン授業で用いる機器・通信環境のアンケートを実施し、6624人の回答を得ました。協力くださった皆さん、ありがとうございます。

本ニュースでは、その全体集計結果をお知らせします。

本学では、この回答結果を参考に、オンライン授業受講環境整備のための支援策を検討しています。

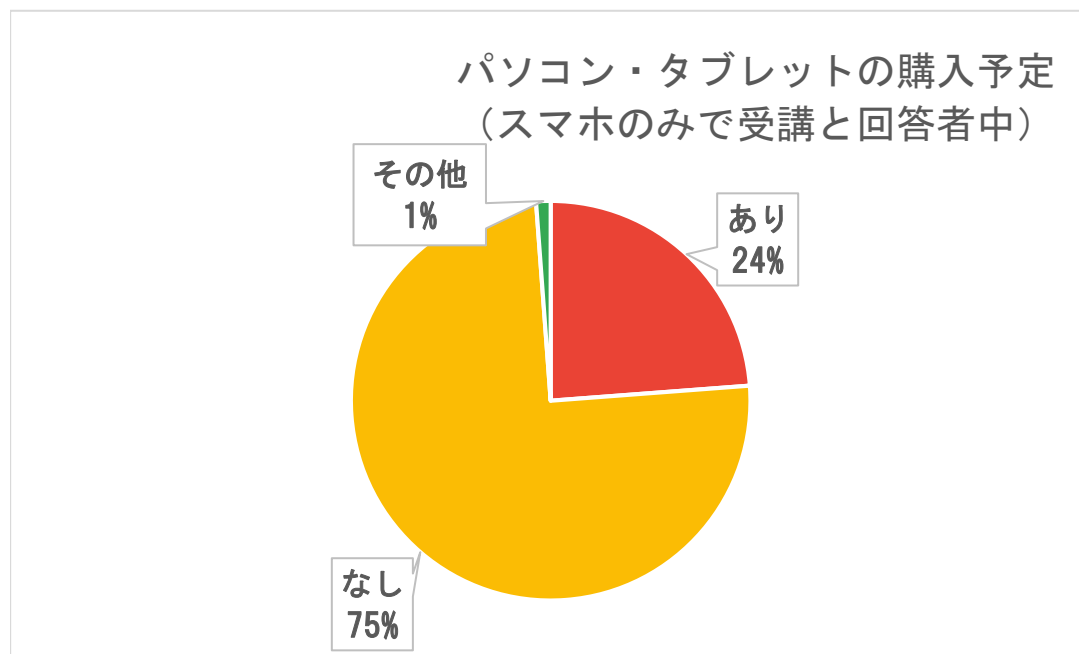
■ 「あなたが授業で用いる機器と通信（インターネット）環境をお知らせください」との設問への回答は以下の通りです。データ容量制限なくパソコン・タブレットを用いて受講する学生が約三分の二（66%）の一方で、スマートフォンだけで受講する学生が1割強（11%、その多くはデータ容量制限あり）います。またパソコン・タブレット利用者含めてデータ容量制限がある学生は、全体の3割強（31%）という結果です。

オンライン授業で用いる機器と通信環境



- パソコン・タブレットも用いて受講、データ容量制限なし
- パソコン・タブレットも用いて受講、データ容量制限あり
- スマートフォンのみで受講、データ容量制限なし
- スマートフォンのみで受講、データ容量制限あり

■ 次に「スマートフォンのみで受講」を選んだ学生に、近日中にパソコンかタブレットの購入予定があるか尋ねた回答は以下の通りです。購入予定ある人がスマホのみ利用者（1割強）のうち四分の一（24%）、残り四分の三（75%）すなわち全体の7.5%程度が、今後もパソコン・タブレットの購入予定はないとの回答です。



■ 最後に「データ容量制限あり」を選んだ学生（全体の3割強）に、今後の制限改善の見通しを尋ねた回答が以下です。近日中に容量無制限に切り替え予定のある人（7%）と、携帯電話会社の支援で50GBまで利用可能な人（44%）を合計して約5割（全体の約15%）、他方で、格安SIMの携帯電話会社（10~30GBの支援が多い）利用者など月50GBの通信容量を確保できていない人が約5割（全体の約15%）という結果です。

